



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

バハレーン経済：イスラム金融機関の合併合意

(7月1日付現地各紙)

1. 6月28日、キャピヴェスト (Capinvest)、エラフ銀行 (Elaf Bank) およびキャピタル・マネジメント・ハウス (Capital Management House) の株主は、臨時総会を開催し、3つのイスラム金融機関を合併し、厳しさを増す地域競争に対応することで合意した。バハレーン中央銀行 (CBB) と商工省の承認を必要とするが、合併後は株主資本約3億5,000万ドル、総資産額4億ドル超の金融機関となる。合併に関するアドバイザーは、クウェイト・ファイナンス・ハウスが務めた。
2. CBBによれば、バハレーンは地域において最も多くのイスラム金融機関が所在している国であり、イスラム金融機関会計監査機構 (AAOIFI) もバハレーンを本拠としている。CBBは小規模のイスラム金融機関を合併し、地域金融市場でもっと積極的な役割を果たせるよう促してきた。
3. これを受けて、バハレーン第二のイスラム金融機関であるバハレーン・イスラミック・バンクは、アッサラーム銀行との合併協議を進めてきたが、2月に交渉が終了した。実現していれば、4億ドル規模の金融機関になるはずだった。アッサラーム銀行は、4月にバハレーン・サウジ銀行との合併に必要な法的要件を整えており、今後もイスラム金融機関の統合が進むものと見られる。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799